



大屋富士

伸びよ 豊かに たくましく

令和2年2月5日
養父市立大屋中学校
学校だより 第13号
TEL 079-669-0111

2月に入りました

1月の3連休前後からのインフルエンザの広がりには、大変ご心配をおかけしました。その後ようやく落ち着きを見せ始め、最終週には生徒が元気に登校してくれている状況に喜びを感じています。

2月に入りました。但馬の節分の時期はよく寒波による降雪に見舞われますが、今年も急に冷え込みを感じるようになり、1月31日(金)の大屋富士もパウダーシュガーがかかったようにたたずんでいました。



<うっすらと白い大屋富士>

1月から2月へのこの何気ない月替わりも、3年生にとっては、これまでにない気持ちの変化をもたらしていることと思います。いよいよ推薦入試の願書の提出が始まり、放課後の学習や面接練習にこれまでとは少し違う雰囲気や緊張を感じていることでしょう（逆に、そうならないと困るのですが...）。食生活や睡眠時間など基本的な生活習慣を大切にしながら、1日1日を丁寧に過ごしてくれることを願っています。

2年生は、3年生のこの状況を受け止めながら、学年の企画として「模擬入試」を実施します。これは、これまでの高校調べや入学者選抜制度についての進路学習を踏まえて、面接質問用紙や面接調査票の作成、現時点での志望校に合わせた願書の試作などを行うとともに、私立高校の受験日である2月10日(月)に合わせて、校内テストや模擬面接も行うという、まさに1年後を見据えた取組です。単にテストばかりに目を向けるのではなく、今の自分をしっかりと見つけ、将来を思い描く機会となればと期待するところです。

1年生は、今学期を2年生に向けての0学期と位置付けて、改めて学習規律や学校生活上の課題を整理し、みんなで考え合いながら改善への取組を進めています。部活動についても、春から先輩として活動することになります。最近の活動の様子を見ても、受け答えがしっかりとってきた感じもあり、動きにも頼もしさを感じるようになりました。2月18日(火)には、来年度の「トライやる・ウィーク」の事前学習を兼ねた「事業所訪問」も実施します。



<校庭の桜のつぼみも準備を始めています>

立春。各学年がそれぞれの新年度に向けて、すでに始動しています。

残念！ スキー教室

1月31日(金)に「スキー教室」を予定していましたが、あいにくの雪不足で実施を断念せざるを得ませんでした。生徒とともに冬山の感動を共有できると楽しみにしていましたのに残念です。

しかし、当日の31日には、なんとということでしょう！

今年初めての降雪となり、大屋スキー場も1日と2日の土・日にはついに営業！ やはり但馬らしい冬山を見ると、心躍ります。スキー教室の実施に向け、ご準備いただいております保護者の皆様、そして指導ボランティアの方々には、ご協力



＜2月2日の大屋スキー場＞
いただき厚くお礼申し上げます。来年は実施できるよう、切に願っています。



ビッグラボとのタイアップ 特別授業 (美術)

1月17日(金)には、3年生を対象に織物作家の澤井まゆみ氏による「織物」づくりを、1月23日(木)には、2年生を対象に木彫家の松田一戯氏による「板彫り絵」づくりを行いました。



＜指導中の澤井先生＞



＜指導中の松田先生＞

書家の近藤先生の授業とともに、ビッグラボとの連携のおかげと言える活動になっています。

1年生の作品に続き、2・3年生の作品展示もまた楽しみです。

どちらの活動も、指を使う活動で、織ったり彫ったり。おそらく普段なかなか使わない神経をかなり使ったのではないかと思います。

こうした活動は、12月にご指導いただいた

やぶ・ふるさとキャリア教育 中尾 一和 教授 特別授業

1月27日(月)には、1・2年生を対象に京都大学名誉教授である中尾一和氏による特別授業を行いました。



＜講演中の中尾教授＞

見据えて、71歳のご自身が描いておられる夢についてなど、熱くそして分かりやすくお話しいただきました。特に、子どもの時からの写真をもとにした楽しいお話や、昆虫採集に熱中していた頃の失敗談は印象的でした。

2学期末に1・2年生が書いた「夢作文」の表彰もしていただきました。

中尾教授から、「夢は変わることもある。変わってもいい。でもそんな夢

筏地区で育った頃のお話や、大学で研究に没頭した頃のお話、そして人生

120年時代を見据えて、71歳のご自身が描いておられる夢についてなど、熱くそして分かりやすくお話しいただきました。特に、子どもの時からの写真をもとにした楽しいお話や、昆虫採集に熱中していた頃の失敗談は印象的でした。



を持っていたことを忘れ ＜夢作文の表彰＞ ず、頭の片隅で思い続けておくことが大事」「100%の全力ではなく、8割の力でもがんばり続けること。続けることが大何よりも大事」といったメッセージをいただきました。

講演後、3年生教室にも入られ、願いが叶うという「五山の送り火」の消し炭を3年生一人ひとりにいただきました。

夢作文 OKN Award 受賞者

【1年】

小林ほのか 田村絢奈 福田依央
松原永和 守田珠希

【2年】

上垣万彩 小倉優菜 濱 直佑
福岡柚希 湯浅愛夏